

## 交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。  
 ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。  
 ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、1ヶ月以内に写真データと一緒にメールで提出してください。



あなたの情報(本報告書を開覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)	
氏名:	
学籍番号	
メールアドレス:	
留学先大学:	ヨーテボリ大学
留学先での所属学部・研究科:	経営学部
留学先での在籍身分:	交換留学生
留学期間:	2022年8月～23年6月
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	3年
帰国日:	6月6日
本報告書記入日:	2023/6/24

## 1. 留学先大学について

1-1	受入許可書(Acceptance Letter)を貰えた日	6月 21日	
	参加必須のオリエンテーション日	8月 26日	
	学期:	①	8月 29日～ 1月 11日
		②	1月 14日～ 6月 4日
③		月 日～ 月 日	
④		月 日～ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	1000人を超える留学生がおり、交換留学生、大学院生含めて、多くの留学生がいました。	
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。		
	語学面でのサポート:	無料のスウェーデン語授業がある	
	勉強面でのサポート:		
	精神面でのサポート:	いつでも相談できる窓口があると思います	
	住居・生活面でのサポート:	寮にも窓口がありますし、インターネットを通じてコンタクトがとれます。	
	課外活動のサポート:		

## 2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	OlofsholjdかHelmutsに入居する方が多いと思います。Olofも十分住み良かったですが、近隣住民の当たり外れがあるみたいなので、入居する場合は注意してください。
-----	--------------------------------------	--

## 3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	ルーター(3000円ぐらい)は自分で購入する必要がありますが、購入後は問題なく使えます。
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	寮費に含まれています。
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	eduromeというWifiがあり、問題なく使えます。
3-2	医療について	利用していません。
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	利用していません。
3-3	銀行口座等について	1年以上居住しないと開設できません。
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	キャッシングを利用して、現金を引き出しました。

## 4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	JASSO奨学金
	支給額(円/月):	80000円/月
	その他(渡航費等の支給):	なし
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	20万円(往復)
	住居費:	(月額) 5万円 × (留学月数)10ヵ月 = 50万円
	食費:	(月額) 3万円 × (留学月数)10ヵ月 = 30万円
	保険料:	9万円(OSSMA)
	その他:	50万円
	合計(留学期間全体の費用):	150万円

## 5. 異文化体験について

5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	ジェンダーレス、環境意識、働き方などで日本と大きく違いました
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	週に1・2回、Facebookで見つけたスポーツコミュニティに参加しました
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	特にしていない
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	親切な人が多く、危険を感じることは一度もありませんでした。またどこでも英語が通じます。

6. 就職活動について	
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。

3月頃から、オンラインで本選考を受けました。

7. アドバイス、振り返り	
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)
7-3	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に答えてください。
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか
	・全体として留学に係る費用は安かったと思い、満足しましたか
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか
	・留学全体の総合的な評価

以前に留学行かれた方のレポート・海外のYouTube(寮のルームツアーなどしていた)

ラップ・インスタント食品・ファブリーズ・ティッシュ・歯ブラシ・化粧水など

英語力、時間管理する力、行動する力は向上したと思います。また、文化も制度も日本と大きく違う国で生活したことで、視野が広がったと思います。

留学前:( ) 点 → 帰国後:( ) 点

丁寧に対応してくださりました。

薦めます。金銭面や就活など不安に感じる部分もありますが、多くの国の人や文化と関わることは、日本ではできない経験になると思います。

(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)

5

5

5

4

3

5

5

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)	
<p>留学を通して、いくつか後悔していることあるので、そのことに関して書かせてもらいます。</p> <p>1つは、留学前にもっと準備すべきだったということです。留学前は、語学力に関して楽観的に考えていました。しかし、留学当初はリスニング力などに課題があり、授業を理解できないことや、愛想笑いをしてごまかすことも多くありました。留学前にもっと語学力をつけるべきだったと反省しています。</p> <p>ただ、1年間KIBERの授業に参加していたことで、プレゼン授業やグループワークに対してはそれほど苦手意識を持ちませんでした。KIBERは授業数も多く、やめて別の手段で留学に行きたいと考えることもありませんでしたが、最終的にはKIBERで留学に行きよかったです。今後留学に行かれる方は、ぜひKIBERの授業を頑張ってください。</p> <p>2つ目は、留学期間中に課外活動をすることです。具体的にはアルバイトをすればよかったと感じています。留学先の授業によりませんが、日本にいたときよりも自由に使える時間が多いです。スポーツをしたり、ビジネスコンテストに参加したりするなど、時間を有効に使えた期間もありましたが、無駄にしてしまうことも多くあったので、反省しています。</p> <p>ただ、反省することもたくさんありましたが、留学を通して得ることができたことも多くありました。今後留学行かれる方は、留学がより有意義なものになるように頑張ってください。応援しています。</p>	

9. 留学経験の共有について	
あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共にGEMsにアップロードしてください！	
もしあなたと同じ大学(国)に留学する神戸大学の学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか？	はい
同意する場合、連絡可能なメールアドレス:	

## 1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Financial and Industrial management			15	英語	200名程度	履修しているのはほとんどがスウェーデン人の学生だった。成績評価は、グループワークと2回のテストで行われる。基本的に週に授業4日、グループワーク1日の予定となっている。テストは2Partに分かれているが、Part1で20/28とることが必要なので、ある程度の対策は必要。
2	Growth and welfare in a historical perspective			7.5	英語	30名	成績評価は、2回の個人ワークとグループ課題で行われる。毎週何かしらのレポートを書かなければなりません。ただ、評価は厳しいわけではないので、参考文献の記載方法など、しっかりとルールに則って作成すれば良いと思う。

## ・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等